

# Environmental Approach 子どもの悩みや問題を 環境面からアプローチ



スクールソーシャルワーカー  
京口小百合 さん

子どもや家族を  
福祉の分野でサポート

皆さんは、「スクールソーシャルワーカー（以下SSW）」について、あまり聞きなれないかもしれませんが。SSWは、悩みや問題を抱えた児童・生徒が置かれている環境に対して、さまざまな手法で課題解決を支援する役割があります。市では現在、6人のSSWが勤務し、それぞれ1または2中学校区ずつ担当しています。

私がSSWになったきっかけは、学校のボランティア活動を通して、困難な状況にいる子どもたちを支援したいと思ったことです。社会福祉士の資格を取得し、ケースワーカーの仕事を経て、平成29年度から市のSSWとして働いています。

### それぞれに見合った方法で取り巻く環境を整える

家族や友人関係、地域社会などにおいて、子どもが抱える悩みや問題は年々複雑化しているため、学校の先生だけで解決に導くのは困難な場合があります。

支援を行うに当たっては、まず対象の子どもや学校生活を観察することから始めます。表面的には見えないSSWのサインに気付くことが大切です。

そして、学校や関係機関と連携を図りながら、子どもの悩みや問題の原因を探り、解決・改善へと導きます。

また、支援を要する背景には、家庭環境に課題を抱えていることがあるため、保護者の支援も併せて行うことがあります。貧困状態であったり、親が精神的な病気を患っていたり、問題はさまざまです。家庭の状況を理解・尊重しながら、それぞれに見合う多

School Social Worker

## スクールソーシャルワーカー

スクールソーシャルワーカーとは、悩みや問題を抱えている児童・生徒と関係を構築し、課題をともに解決する人のことです。

スクールカウンセラーが、心のケアを行う心理の専門家であるのに対し、スクールソーシャルワーカーは、児童や生徒、その家族に環境面から介入する社会福祉の専門家です。学校や病院などの関係機関と連携し、課題に取り組みます。

問題解決を代行するのではなく、置かれている環境を整え、自らの力で困難を乗り越えるための支援を行います。

面的な支援を行う必要があります。関係機関へつなげた後も、継続的に相談や家庭訪問などを行い、中学校を卒業するまでサポートします。

### 子どもが持つ可能性を存分に引き出す

SSWは、子どもに関わる人と環境の双方に働きかけ、抱えている問題や課題の解決を図る役割を担っています。子どもたちは、学校生活といった環境の影響を受けやすいため、早めに支援を行うことが重要です。将来を見据え、一人一人が持つ可能性を最大限広げられるように、切れ目なく支援してまいります。

レシピ 川西・猪名川地域活動栄養士協議会

●材料 2人分

- 栗 ..... 150g<sup>2</sup>
  - タマネギ ..... 1/2個
  - セロリ ..... 小1/2本
  - バター・小麦粉 ..... 各大さじ1
  - 牛乳 ..... 150cc
  - 塩・コショウ ..... 各少々
- 【A】 顆粒コンソメ（小さじ1/2）、水（1カップ）
- 熱量（おとな1人分）：257kcal、塩分：0.8g<sup>2</sup>

●作り方

- 栗は鬼皮と渋皮をむいて4つ割りにする。タマネギ、セロリは粗めのみじん切りにする。
- 鍋にバターを溶かしタマネギ、セロリをさっと炒める。小麦粉を入れて炒め、栗とAを加え、柔らかくなるまで煮る。
- 飾り用の栗を2粒ほど残し、残りをミキサーにかけてなめらかにする。鍋に移して火にかけ、牛乳を加えて沸騰直前で止める。塩・コショウで味を整える。
- 器に盛り、飾り用に残した栗を荒く刻み、散らす。



## マロンスープ

市特産の栗を使った秋の味覚

## 通信販売に気を付けましょう

広告を隅々まで読みましょう  
お試し価格での購入は慎重に

事例1：欲しいと思っていた形のかばんが新聞広告に載っていたので注文した。届いたかばんは思っていたような重厚感がなかったのでクーリング・オフしたい。(70歳代男性)

通信販売にはクーリング・オフ制度（一定期間内であれば、無条件で申し込みの撤回や契約の解除ができる制度）はありません。通信販売は「返品特約」という通信販売業者が決めたルールがあり、それに従うことになります。広告に返品できないと書いてあれば原則返品できません。通信販売を利用する時は広告をよく読み、必ず「返品特約」を確認しましょう。

事例2：「定価9,000円のダイエットサプリを初回500円、2回目以降は8,500円でお届けする定期コースです。解約はいつでもお電話で承ります」という広告を見て注文した。2回目を解約しようと思いつつも何度か電話をするが「混み合っています」というアナウンスが流れ30分待ってもつながらない。どうしたらいいか。(40歳代女性)

通販業者に連絡ができないという相談が増えています。他にも「1袋お試し価格10円のダイエットサプリメントを申し込んだ2週間後に、20袋（約4万円）の商品が届いた。広告を見直すと支払い後でないと解約できないと小さな字で書いてあった」という相談も寄せられています。初回無料やお試し価格の商品を注文する時は広告を隅々まで確かめ、購入するかどうかは慎重に考えましょう。困ったことがあれば消費生活センターに相談してください。

## 子どもたちに伝えること

伝え続けることで  
生まれた感謝の気持ち

子どもたちには3歳から、僕自身のことを伝えています。「パパは昔ママと同じ身体やったんや。おっぱいがあったな。おちんちんはないやろ。神様が間違えておっぱい付けたから、パパおっぱい取ったんや」と。もちろん最初の頃は、意味も分からず、「ふ〜ん」と聞いているだけでした。

成長するにつれて、新しい情報をプラスして話し続けました。すると子どもたちの方から、「知ってるで。ママと同じ身体やって…」と説明するようになりました。

講演会にも一緒に付いて来ることがあります。子どもたちからすると、いつも聞かされている内容なので、「も一分かかってるで」という感覚で聞いています。小さいうちから言い続けているから、わが子にとっては当たり前のことなのです。

先日、「お母さんとお父さんどちらにも卵があって、それが結び付いて子どもは生まれるんやで。でもな、パパには卵がないから、別の男の人の卵をもらった。その卵がママの卵と結び付いて、あなたたちが生まれたんやで」と話しました。すると上の子が、「その卵をくれた人を知りたい」と言ってきました。なぜ知りたいのか尋ねたら、このように答えました。「パパには卵がなかったから、別の人の卵を借りてお世話になった。ありがとうって言いたい。その人がおらんかったら、生まれてなかったもん。生んでくれたママにも感謝したり、見守ってくれたパパにも感謝したり、卵を分けてくれた人にも感謝したり」。

僕はうれしく、心が温かくなりました。伝え続けることの大切さを改めて感じました。

(Like myself 代表 前田良)